

【インド】

1-2 月の市場動向トピックス

- 2021 年 1 月の訪日インド人数は、前年同月比 93.5%減の 900 人であった。
- 2021 年 2 月の訪日インド人数は、前年同月比 90.9%減の 600 人であった。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、日本政府による上陸拒否、14 日間の隔離・PCR 検査受診等、査証の効力停止等の対象となっている。また、インド政府から発令された海外渡航中止勧告と観光目的以外の人的往來を可能とする二国間協定による臨時便を除く国際旅客便の運航停止が継続している。自国民の日本からの入国については、PCR 検査の陰性証明を相手国出国前 72 時間以内に取得すれば停留措置は免除され、14 日間のセルフモニタリングの実施のみとなる。

1-2 月の主なプロモーション活動

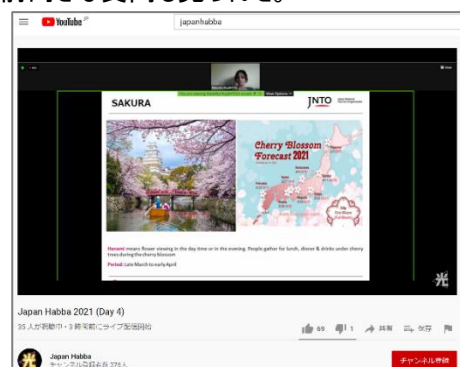
- 南部地域の旅行会社向けのオンラインセミナーを実施
2 月 2 日にチェンナイ、4 日にベンガルールの旅行会社向けにオンラインセミナーを実施した。チェンナイでは 21 社、ベンガルールでは 25 社の参加があり、日本の新型コロナウイルスの現在の状況や収束後に新たにトレンドとなりうる体験型コンテンツの説明を行った。また、プレゼンテーション後に実施したアンケート結果に基づき、旅行会社の関心が高かった寿司体験やテーマパークなど家族で楽しめるコンテンツ、またアルペンルートや白川郷などのインド市場では新たな観光地について、コロナ後のおすすめの旅程として 3 月のニュースレターにて配信を予定している。
- ベンガルールのオンライン日本イベント「Japan Habba」に参加
これまで毎年ベンガルールで行われ、2020 年は 5000 人近くの集客のあった日印交流イベント「Japan Habba」は、2021 年 2 月 20、21、27、28 日の 4 日間のオンラインイベントとなった。例年総領事館と連携し、観光ブースを出展していたため、フェイスブックでの広報活動の支援を行い、イベント 4 日目には訪日魅力を伝えるプレゼンテーションを行った。コロナ後の旅行を想定し、これまでの人気の旅程に加え、北海道や沖縄など自然豊かな観光地や国立公園などの説明を行ったところ、80 名程の参加者からは、コロナ禍における水際対策に加え、ポップカルチャーに関する質問や、ホームステイや沖縄旅行の最適なシーズンなど前向きな質問も見られた。



プレゼンテーション表紙



4 日目のスケジュール



当日の YouTube での配信の様子